

丸中健児 学びの道しるべ

令和元年 11 月 15 日
小松市立丸内中学校

1 全国学力・学習状況調査結果（本校と県・国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	大きく上回る	大きく上回る
数学	平均並み	大きく上回る
英語	上回る	上回る

国語については、県、全国を大きく上回る結果となりました。数学は、県と同程度で、全国を大きく上回る結果となりました。

初めて実施された英語については、県、全国を上回る結果となりました。

本校の特徴として、数学、英語において、記述式の設定において課題が見られます。

※新学習指導要領の趣旨を踏まえ、令和元年度より従来のA問題（知識・技能等）とB問題（活用等）という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題となりました。

2 設問から見える成果（◎）と課題（△）

国語
◎文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつこと。 ◎文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること。 ◎封筒の書き方を理解して書くこと。 ◎話し合いの話題や方向を捉えること。 ◎話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと。
数学
◎証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解すること。 ◎反例の意味を理解すること。 ◎事柄が成り立つ理由を説明することができること。 △数の集合と四則計算の可能性について理解すること。 △事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。【記述式】
英語
◎教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる。 ◎日常的な話題について、簡単な文章で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。 ◎まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる。 △聞いて把握した内容について、適切に応じること。【記述式】 △書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえること。【記述式】



学力とは、豊かな人間性、体力、健康とともに、子どもたちが生きるために大切な力です。なお、本学力調査は学力の特定の一部分を推し量るものです。

3 質問紙調査の結果から

良好なもの

- ◎読書が好きな生徒、読書をしている生徒の割合が高い。
- ◎地域の行事に参加している生徒の割合が高い。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合が高い。
- 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思っている生徒の割合が高い。

課題となるもの

- △家の人と学校での出来事について話をする生徒の割合がやや低い。
- △学校の授業時間以外に、普段、1日当たり勉強をしている生徒の割合がやや低い。
- △朝食を毎日食べている生徒の割合がやや低い。

4 全国学力調査、質問紙調査を踏まえた改善策について

学校での取組

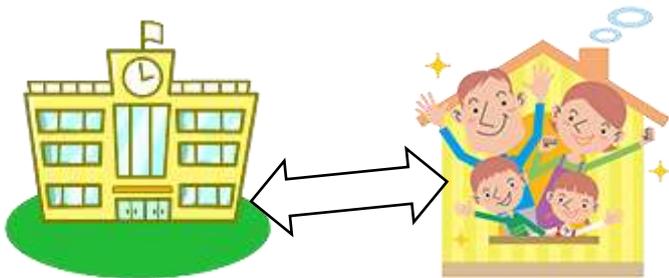
学習内容を確実に定着させる指導を充実させるとともに、生徒が主体的・対話的に学ぶ授業づくりを推進し、思考力や表現力を育成する。

基礎基本の定着に向けて

- ・漢字練習や単語練習、計算のプリント学習、英語リスニング学習等を行い、基本的な知識や技能の定着を図る。
- ・単元に入る際の既習事項の確認や学びを自覚する振り返る活動を確実に行う。
- ・家庭学習強化週間を設け、学習計画作成の指導や評価をし、生徒に学習習慣を身に付けさせ、主体性を高める。

活用力の向上に向けて

- ・本校のキーワード「語り合い」のもと、自分の考えを書いたり、学び合ったりする学習活動を通して、考えを深め広げる授業づくりを推進する。
- ・自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組み立てを工夫して発表させ、思考力や表現力を高める。



ご家庭にお願いしたいこと

- ・起床・就寝時刻や食事等、規則正しい生活習慣になっているかを見直してください。
- ・家族で一緒に食事をとるなどして、親子の会話の時間をつくりましょう。その際、学校からの通信を積極的に活用していただけると幸いです。
- ・ゲームやネットについては、家庭で決めた使用のルールを守らせ、節度をもたせましょう。

家庭と学校が連携して 健やかな子どもの育ちを見守りましょう